



社会福祉法人 尚仁福祉会
 〒689-4403 鳥取県日野郡江府町大字久連7 TEL 0859-75-3626
 メールアドレス jimukyoku@tirol.or.jp URL http://www.tirol.or.jp

チロルの里からのお便り

好いちよう

第1号
2015.4.24

平成27年度
 デイサービスセンター
 行事計画

- 4月 桜の木の下で写真撮影会
- 5月 こいのぼり見学
- 6月 ちまき作り
- 7月 七夕祭り
- 8月 夏祭り
- 9月 敬老のお祝い
- 10月 秋の大運動会
- 11月 イチヨウを見ながらお茶会
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年会
- 2月 節分(豆まき)
- 3月 ひな祭り



- ・桜湯
- ・菖蒲湯
- ・ゆず湯
- ・松湯
- ・大根湯
- ・蓬湯 など

栄養士なみの 簡単レシピコーナー



当施設でも提供している人気のあるレシピを紹介いたします！

切干大根といえば、煮物くらいしか登場せずマ
ンネリ化しがちな食材ではないでしょうか。でも、
切干大根は食物繊維も豊富で、なんととっても旨
味がたっぷり！ 自分子どもにもなんとか食べ
てもらいたいと思つて考えたレシピです。

☆切干大根のソース炒め☆

〔材料・4人分〕

- ・切干大根50g
- ・豚肉(部位はなんでも)100g
- ・人参1/4本・ピーマン1個
- ・ウスターソース大さじ2
- ・とんかつソース大さじ1
- ・顆粒だし少々
- ・サラダ油大さじ1
- ・塩コショウ少々



〔作り方〕

- ①切干大根は約10分浸けて戻し、絞っておき
ます。人参はせん切り、豚肉は食べやすい大
きさに切ります。
- ②熱したフライパンに油をしいて豚肉を炒め、
色が変わり始めたら人参、切干大根と順に炒
めます。
- ③塩コショウをしてソースを回しかけ、手早く
炒めたら完成です。

作品紹介

入居のお客様は「そんな器用で
はないよ」「どうして良いか分か
らないよ」「できるかなあ？」と
おっしゃっていましたが、作り始
めると皆様集中して無口になり、
時にはお茶を飲むことも忘れて集
中され、ここに力作が出来上が
りました。歓声の中拍手喝采でみん
なで喜びました。

平成27年3月25日
グループホーム作



いこい作

ナースの健康アドバイス

春は気温の変化が激しく、空気が乾燥してい
るため、ほこりや花粉が原因となる病気は多く
発生します。花粉症や眼障害・再発性口内炎・
結膜炎など様々で、目や口の粘膜、皮膚に症状
が表れる事が多くあります。その中でも特に花
粉症は、年々増加傾向にあり、花粉症を克服す
るためには、通院する事ももちろんですが普段の
生活の中からマスクやメガネを着用し、花粉飛
散情報を参考にし余分
な外出を控えるなど工夫
することも大切です。



法人名について

平成27年4月より法人名称を尚仁福
祉会と改めさせていただきます。「尚仁」
とは、思い遣りを尊ぶ、という意味が
込められています。
江府町の皆さま及び各関係機関の皆
様におかれましては、名称は変わしま
すが、これまで同様のご支援とご協力
をお願いいたします。

法人理念について

法人名称変更に伴い、法人理念につ
きましても新たに定めることといたし
ました。

- 「おもいやり」を尊び
- 「しんらい」を築く

「おもいやりを尊ぶ」とは、利用者の
皆様、職員同士、地域住民の皆様への「お
もいやり」を大切にすると意味が
込められており、皆様からの「しんらい」
を築いていく事を目指す、という思い
を込めて法人の理念といたしました

新年度のあいさつ



理事長
佐々木 満

これまで当法人の福祉事業につきまして、
多数のご協力、ご支援をいただきましたこ
とに、まずは感謝の言葉を申し上げます。

さて、当法人は社会福祉法人寿耕会とし
て平成5年に設立され現在に至りましたが、
広報誌の発行はこれが初めてとなります。
皆様もご存じの通り、これまで当法人では
様々な問題点や課題が山積しておりました。
私が理事長に就任した平成25年5月より、
経営改善、職員の処遇改善、サービス品質
の見直し等を行い、徐々にその成果が表れ
てきつつあると感じております。

そして、平成27年度より法人名称を社会
福祉法人尚仁福祉会と改め、心機一転、益々
江府町民の皆様への福祉を充実する為に職員
一同、一丸となって邁進してまいります。
で、これまで同様のご支援とご協力をお願
いいたします。

チロルの里特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

私たち特養の職員は、新しくなった法人理念の『おもいやり』を尊び「しんらい」を築く』を基にして、今年度「本人の希望に沿いその人に合った自立した生活を支援します」「自分の思いで生活が出来る環境を提供します」を今年度事業所の目標とします。

特養と言いつ限られた生活空間ではありますができる限りご本人様の希望に沿える様に生活歴等の情報を収集し、皆で共有することで少しでもお客様に満足して生活して頂ける様に、常におもいやりの心を持ち行動してまいります。終の棲家と言われる特養で一日一日を大切に頂き、その人らしく最後まで生活して頂ける様職員一同お手伝いさせていただきます。

今後地域の皆様にも行事への参加・ボランティアの協力等お願いする事も多々あると思いますので宜しくお願い致します。

チロルの里デイサービスセンター（通所介護）

デイサービスでは「地域関係機関との連携を図り、施設への理解を深めていただくとともに利用者様の要望や声に基づいたサービス提供を目指し、在宅での生活を少しでも長く続けられるよう支援する」ことを目標としています。

本年度は、下肢筋力低下の防止と認知機能低下の予防プログラムに重点を置き、各関係機関との連携を密に行い、安心して生活できるように少しでもお役に立てればと思います。

また、レクリエーションや施設内行事も充実させ、利用者様に「また来たい」「ほかの人にも勧めたい」と思っていただけのようなサービスを提供できるよう、職員一丸となって取り組んでいきます。



施設長 藤原 みさ子

チロルの里グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

江府町に在住で、認知症を患っておられる方を対象にした介護保険サービスとなります。

グループホームでは、認知症の進行抑制を図るとともに、住み慣れた地域で、「地域とのつながりを持った生活を継続できるように支援すること」を目標としています。

具体的には、個々に持っている生活習慣や「こだわり」を大切にしながら支援を行うこととしています。例えば、通年でのお墓参りや親戚との交流、大切な家族行事など、ご本人様と家族様の想いを共有することが挙げられます。

チロルの里デイサービスセンターいこい（認知症対応型通所介護）

デイサービスセンターいこいでは、「地域との関わりをもち、認知症の進行抑制を図り、利用者様と家族様の相談等を傾聴し、在宅生活を継続できるよう支援する」ことを目標としています。

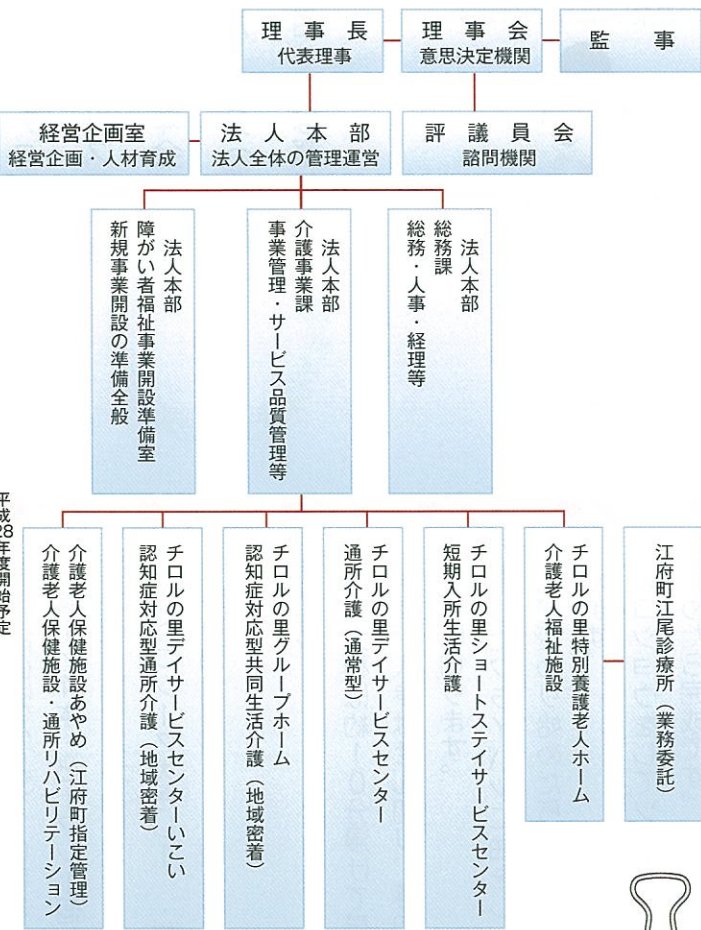
そのために、認知症対応のプログラムを設定しており、個々の利用者様に合わせた接遇を強化しています。

今後ますます増加すると予測されている認知症に対して不安なく生活していけるよう、職員一同地域との連携を図りながら精進してまいります。



ホーム長 田口 明洋

平成27年度 社会福祉法人尚仁福祉会 法人組織図



平成27年度 事業予算案

平成27年度予算が承認されました。新規事業の為に、職員を多めに採用する予定ですので、人件費が例年よりも上昇しています。(詳細な予算を確認したい方はホームページをご覧ください)

項目	金額	備考
施設介護料収入	182,908,000	特養の収入
居宅介護料収入	86,268,000	デイ・ショート収入
地域密着型介護料収入	59,214,000	認知症対応サービスの収入
その他収入	20,000	利息等の収入
収入計	328,410,000	法人の総収入
人件費支出	238,210,000	職員の給与・賞与等
事業費支出	66,780,000	給食費・おむつ代等
事務費支出	21,080,000	福利厚生や研修・広報等費用
支出計	326,070,000	法人の総支出
事業活動資金収支差額	2,340,000	法人の利益

法人の取り組み『地域人づくり事業』



「人づくり事業」の募集に応えて

研修生 土井垣 春美
介護専門アドバイザー 島田 麻衣

平成26年7月より、江府町と協力し、緊急雇用創出事業として『地域人づくり事業』が始まりました。この事業は全くベースがないので自分自身の今までの現場経験と研修生の方の要望も交え、さらにより専門的な知識を習得するために月に一回外部講師を招いて研修も行っていきます。研修を初めて8ヶ月が経過していますが、研修生の方も少しずつ知識や技術を習得し、現場でできる事が増えてきた事と、現場である特養の職員の意識が変化してきた事で、相乗効果が生まれ、ご利用者様へのより良いサービスの提供に繋がっていると思います。

六十代が目前となり、自分自身の老後や、介護している親族について不安に考えるようになっていました。私自身、まだまだ働きたいという意欲を持っていましたが、現実には週に2日から3日のパートで学びながら働く機会が殆どありませんでした。諦めかけていた私にとって、『地域人づくり事業』は介護の知識と技術を学びつつ働けるので願ったりかなったりの事でした。

学んでいくにつれ業務面をこなすことに重きをおいていた私ですが、利用者様らしい生活をしていただく事、利用者様の喜びとなることを行うよう努力することの重要性を知りました。この事業を通じて、多くの事を経験し、多くの事に気づかされ、職員として、家族として、親族の世話をする者として、近い将来介護を受ける側という四つの視点で物事を見るようになり視野が広がりました。まだまだですが、指導を受けて学んだことを身につけるよう頑張っています。